

HPE Aruba Networking EdgeConnect SD- Branch

有線、無線、WANネットワークの一元管理、AIOpsとセキュリティにより、エッジからクラウドまでリモートブランチ全体のユーザーエクスペリエンスを強化

主な特徴

- unified SASEとHPE Aruba Networking SSEまたはSSE統合オーケストレーション
- ポリシーエンフォースメントファイアウォール、ディープパケットインスペクション、IDS/IPS
- Webコンテンツ分類、URLフィルタリング、IPレビュー、ジオロケーションフィルタリング
- ハブアンドスポーク、ハブメッシュおよびブランチメッシュトポロジでサポートされる、スケーラブルかつクラウドネイティブなマルチテナントオーケストレーション
- ゼロタッチプロビジョニング (ZTP) 対応の高性能ブランチゲートウェイ
- すべてのSD-WANゲートウェイで無制限の帯域幅を使用できるライセンス
- 3,700以上のアプリケーションとプロトコルをサポートする、ポリシーベースのルーティング
- 優先度の高いSaaSアプリケーションの動的パス最適化
- Microsoft 365に最適化
- Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloudで利用できる仮想ゲートウェイとハブルーティング

有線、無線、WANネットワークの一元管理、AIOpsとセキュリティにより、エッジからクラウドまでリモートブランチ全体のユーザーエクスペリエンスを強化できます。

企業がクラウドベースのサービスやハイブリッドワークに移行するなかで、クラウドベースのアーキテクチャーをサポートして、増大するサイバーセキュリティのリスクから組織を保護するという課題の解決策となるのが、セキュアアクセスサービスエッジ (SASE) のキーコンポーネントであるソフトウェアデファインドWAN (SD-WAN) です。

HPE Aruba Networking EdgeConnect SD-Branchは、組織がブランチ拠点でネットワーク機能とセキュリティ機能をシームレスに展開し、ローカル運用を簡素化できるオールインワンソリューションです。このソリューションは、HPE Aruba Networking SSE (Security Service Edge) との緊密な統合を活用してUnified SASEプラットフォームを構築するとともに、IDS/IPSやWebコンテンツフィルタリングなどの高度な組み込みのセキュリティ機能を提供します。また、HPE Aruba Networkingのその他のテクノロジーコンポーネント (単一コンソールであるHPE Aruba Networking Centralの管理対象となる無線ネットワークやスイッチなど) との統合により、一元的かつセキュアなネットワークインフラストラクチャーを提供します。高度なSD-WAN機能 (EdgeConnect SD-Branch) でルーティングの決定を最適化し、LANおよびWANエッジ全体の可視性を向上させます。エンドユーザーの役割、デバイスタイプ、ロケーションコンテキストに基づいたセキュリティ機能にインテリジェントなLANおよびWAN管理を組み合わせたEdgeConnect SD-Branchソリューションは、分散型企業のブランチ拠点に最適です。

少人数のチームでネットワークを一元管理している組織では、ブランチネットワークの展開、管理、メンテナンスに必要な時間を短縮しつつ、ユーザーエクスペリエンスとビジネスオペレーションを強化できます。EdgeConnect SD-Branchゲートウェイはクラウド管理型であり、組織は包括的なソフトウェア デファインド ブランチ (SD-Branch) ソリューションを展開できます。

インテリジェントなLANおよびWAN管理

ワークフローの簡素化により、WANの管理を完全にオーケストレーションして、展開、ネットワークパフォーマンス、継続的な構成変更に必要な時間を短縮できます。HPE Aruba Networking Central (AIベースのネットワーク運用、保証、セキュリティプラットフォーム) が一元管理を実現し、キャンパス、ブランチ、リモート、データセンターの拠点にわたって有線/無線LAN、SD-WAN、クラウドのすべての要素を監視します。クラウドのメリットにより、HPE Aruba Networkingからブランチゲートウェイ、ヘッドエンドゲートウェイ、仮想ゲートウェイの構成と展開、およびデータの確認が簡単に行えます。更新やメンテナンスが必要となるオンプレミスの管理機器もありません。

また、HPE Aruba Networking Centralには、一般的なトラブルシューティング作業を自動化する、フルサービスのAIOpsソリューションが含まれています。AIOpsには、一般的なネットワークの問題を自動診断するNetwork Insights、トラブルシューティングに関するヒントやソリューションガイドを自然言語を使用して検索するAI Search、ログファイルやトラブルシューティングのデータを自動収集するAI Assistなどの機能があります。また、HPE Aruba Networking Centralでは、APIやWebhookを使用して他のITプラットフォームとサードパーティ統合を行うことも可能です。

クラウドベースのオーケストレーション

HPE Aruba Networking Centralは、クラウドネイティブなマルチテナントアーキテクチャに基づいたエンドツーエンドのオーケストレーションを実現し、簡単にルートを配布して、スケーラブルかつセキュアなトンネルを構築します。WANリンクが自動検出され、ビジネスとトポロジのニーズに応じてトンネルがオーケストレーションされます。オーケストレーターは、トンネルを必要とするサイト間のみトンネルをセットアップします。同様に、ルートは到達可能なゲートウェイ間でのみ通知されます。また、オーケストレーターは、クラウドの検出、オンボーディング、および管理を自動化することで、Amazon AWS、Google Cloud、Microsoft Azureパブリッククラウド インフラストラクチャ内の仮想ゲートウェイの展開を簡素化します。

無制限の帯域幅

他のSD-WANベンダーとは異なり、HPE Aruba Networking EdgeConnect SD-Branchソリューションでは、すべてのゲートウェイライセンスごとに無制限の帯域幅を提供します¹。このため、組織はアップグレードを購入することなく、すべてのハードウェアパフォーマンス機能をすぐに使用できます。

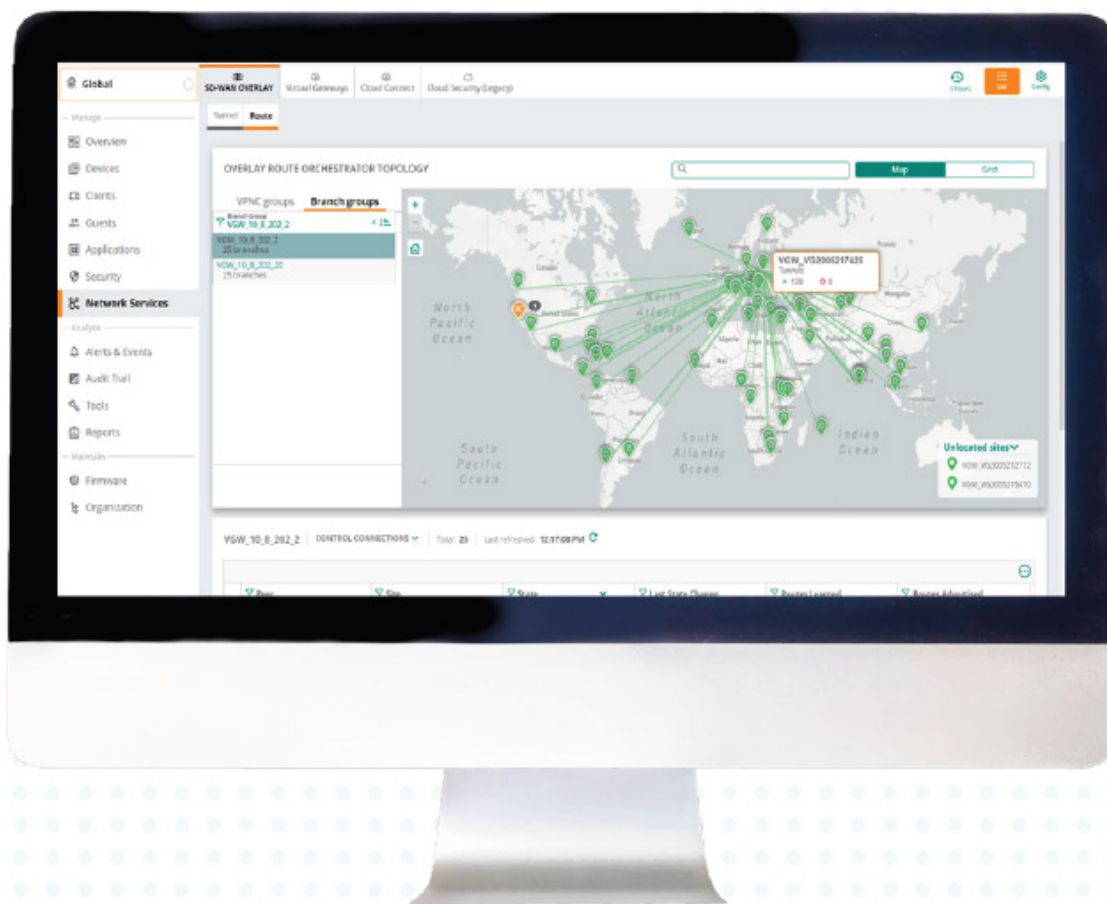


図 1. HPE Aruba Networking EdgeConnect SD-Branch

¹ クラウド内の仮想ゲートウェイを除く

SD-Branchゲートウェイ

ブランチ向けゲートウェイ

HPE Aruba Networking SD-Branchゲートウェイは、ブロードバンド、MPLS、セルラー回線にわたって複数のWAN接続をサポートする設計となっています。HPE Aruba Networking 9004-LTEゲートウェイには、統合型ハードウェアベースのLTEが組み込まれています。さらに、HPE Aruba Networking 100シリーズ 5G Cellular Bridge、またプラグアンドプレイ型HPE Aruba Networking USB LTEモデムの導入で、あらゆるブランチゲートウェイで5GまたはLTE接続を最大限に活用できます。5G Cellular Bridgeは、PoE (Power over Ethernet) による給電で場所を問わず設置できるため、カバレッジと信号品質を強化できます。

HPE Aruba Networking Centralを活用することで、プライマリ接続における障害発生時でも、重要なアプリケーションとリソースへの最適な接続を確保できるため、組織では、データセンター、パブリッククラウドインフラストラクチャ、またインターネットに送信されるトラフィックのルーティングと優先順位付けが可能になります。また、各ゲートウェイは、高可用性 (HA) 要件 (例えば、アクティブ/アクティブやアクティブ/スタンバイ) にも対応しており、完全な冗長性が求められる拠点に最適です。

ヘッドエンド向けゲートウェイ

ヘッドエンド/データセンター環境に展開されたHPE Aruba Networkingゲートウェイは、VPNコンセントレーター (VPNC) としての役割を果たし、ブランチサイト、マイクロブランチ (アクセスポイントのみ) サイトやVPNエンドポイントからのトラフィックを終端します。これらのゲートウェイは、数千か所のブランチサイトをサポートできます。たとえば、1つ以上のヘッドエンドゲートウェイを使用して、ハブアンドスポークトポロジでブランチゲートウェイから確立されたIPsecトンネルを終端できます。

パブリッククラウド向けゲートウェイ

HPE Aruba Networking仮想ゲートウェイは、[Microsoft Azure Virtual Network \(VNET\)](#)、[Amazon Web Services Virtual Private Cloud \(AWS VPC\)](#)、[Google Cloud Virtual Private Cloud \(Google VPC\)](#) などのパブリッククラウドインフラストラクチャに展開されます。こうしたゲートウェイがヘッドエンドゲートウェイの仮想インスタンスとしての役割を果たし、パブリッククラウドに接続されているすべてのブランチおよびデータセンター拠点でシームレスかつセキュアな接続を実現します。仮想ゲートウェイは、パブリックインターネット接続のほか、Direct Connectなどのプライベート接続をサポートしています。

仮想ゲートウェイはHPE Aruba Networking Centralで管理され、VNET/VPC検出、サブネット管理、ゲートウェイオンボーディング、HA構成、ステータス監視を完全自動化する、フルオーケストレーション機能を備えています。

仮想ゲートウェイは最大4Gbpsのスループットをサポートしており、1、3、5年間のサブスクリプションを選択できます。

SD-WANとパブリックマルチクラウドネットワークの統合

EdgeConnect SD-Branchゲートウェイは、パブリッククラウドプロバイダーのグローバルバックボーンネットワークに対して直接、オーケストレーションされたセキュアなブランチ接続を行います。ブランチ拠点をリージョンのPOP (Point of Presence) に直接接続し、リージョン内およびリージョン間でクラウドリソースへのアクセスを提供することで、SD-WANオーバーレイを大幅に簡素化します。オーバーレイは、各VPCで仮想ゲートウェイなしのブランチ間通信もサポートしています。Cloud Connect (HPE Aruba Networking Central内のサービス) は、単一のダッシュボードにより、[AWS Transit Gateway Network Manager](#) およびMicrosoft Azure Virtual WANとのSD-WAN統合の管理と運用を簡素化します。

Microsoftの機能

HPE Aruba NetworkingとMicrosoft 365、Teams、Skype for Businessの統合により、Microsoftのトラフィックを検出して重要度の低いアプリケーションより優先させる、独自のアプリケーションインサイトを提供します。HPE Aruba Networking Centralは、可視性を向上させる通話品質ヒューリスティック機能も備えています。

Microsoftの推奨ソリューション

HPE Aruba Networking仮想ゲートウェイは、[Azure Marketplace](#)におけるMicrosoftの推奨ソリューションです。これは、ゲートウェイアプリケーションがお客様のニーズに対応する実証済みのコンピテンシーと機能を備えていることがMicrosoftのエキスパートによって検証済みであることを意味します。

ポリシーベースのルーティングとサポート対象プロトコル

ポリシーベースのルーティング (PBR) では、アプリケーションのタイプやリンクの健全性、デバイスのプロファイル、ユーザーの役割、接続先に基づいて、複数のプライベートまたはパブリックWANアップリンクでトラフィックをルーティングすることができます。サポート対象のプロトコルには、BGP、OSPF、およびスタティックルートが含まれます。

SaaS最適化

SaaS Expressは、優先度の高いSaaSアプリケーション (Microsoft 365、Dropbox、Slackなど) が複数のインターネットプロバイダーリンクを通過する際に最高レベルのパフォーマンスで稼働できるようにします。このソリューションは、DPIエンジンを使用してファーストパケット上のアプリケーションを分類します。

SaaS Expressは、ユーザーをブランチサイトからSaaSアプリケーションにシームレスかつ安全に接続し、SaaSのエクスペリエンス品質 (QoE) を継続的に監視します。このインターフェイスにはドリルダウンダッシュボードが含まれており、ユーザーはSaaSのパフォーマンスに関連する問題を特定して根本原因分析を実行できます。

この機能を利用するには、HPE Aruba Networking Central SD-WAN Advancedライセンスが必要となります。詳細については、最新の[HPE Aruba Networking Central発注ガイド](#)をご覧ください。

主なWAN機能

オーバーレイとハイブリッドWAN管理

HPE Aruba Networking Centralで管理されるHPE Aruba Networking EdgeConnect SD-Branchは、WAN接続のネットワークオーバーレイとなる新たなアーキテクチャーを導入し、プライベート接続とパブリック接続 (ハイブリッドWAN) における可視性を向上させます。

SD-WANトポロジのオーケストレーション

HPE Aruba Networking Centralは、ルートおよびトンネルのオーケストレーションによって各種トポロジ (ハブアンドスポーク、ハブメッシュ、ブランチメッシュ) を構築し、すべての拠点間の接続を簡素化しつつ、耐障害性を確保して柔軟性を最大限に向上させます。ハブアンドスポークトポロジでは、ブランチから最適なリソースへの最短経路を簡単に確立できます。ハブメッシュでは完全に推移的なバックボーンネットワークの構築が可能になり、ブランチメッシュはネットワークスポーク (またはブランチ) 間の直接通信をシームレスに実現します。

サイト間VPN

パブリックインターネット接続でも、1つのブランチ拠点から別のブランチ拠点へのセキュアな接続を確立できます。異なる拠点のユーザーが、データセンターを経由することなく、企業ネットワーク内にホストされたネットワークリソースにアクセスできます。



図 2. HPE Aruba Networking Central WANヘルスダッシュボード

ダイナミックパスによるステアリング (DPS)

WANスループット、レイテンシ、ジッター、パケットロスなどの特性に応じた最適なアップリンクで、WANトラフィックを自動的にルーティングできます。このソリューションは前方誤り訂正 (FEC) もサポートしており、トラフィックフロー時のパケットロスを補い、アプリケーションパフォーマンスを向上させます。

WANの可視性

HPE Aruba Networking Centralは、ディープパケットインスペクションテクノロジーを使用して、アップリンクのタイプを問わず、ブランチネットワークに出入りするアプリケーショントラフィックを監視します。そのため、IT部門はパブリックWAN接続の利用が増加しているWAN環境を簡単に管理できます。

WAN圧縮

ネットワークの輻輳時に利用するのに最適な、このWAN圧縮機能により、IT部門はいつでも同じWAN回線で大容量のトラフィックを送信できます。

無制限の帯域幅

HPE Aruba Networking Centralライセンスは、各ゲートウェイですべての帯域幅仕様へのアクセスを提供します。追加のライセンスアップグレードは不要です。

主な構成機能

インストールウィザードの簡素化

HPE Aruba Networking Centralでは、ネットワークのプロビジョニングを簡素化する段階的なナビゲーションをユーザーに提供しており、ブランチゲートウェイを簡単に構成できます。

構成階層

ブランチ固有の要件に基づいて、HPE Aruba Networking Centralで事前にネットワーク設定を構成し、カスタマイズできます。ゼロタッチプロビジョニング (ZTP) は、簡単でエラーのない展開モデルです。

ゼロタッチプロビジョニング (ZTP)

ゼロタッチプロビジョニングを利用すれば、ハードウェアゲートウェイを工場から出荷し、HPE Aruba Networking Centralを使用して展開できます。構成などのネットワーク固有の要件に基づいて設定を適用できます。

シンプルなモバイルプロビジョニング

HPE Aruba Networkingモバイルインストーラーアプリケーションを使用すれば、オンサイトの担当者がゲートウェイを簡単にオンボードできます。中央のITチームは、追加の手順を実行することなく、デバイスの場所、ライセンス、ステータスを確認できます。この機能はiOSとAndroidで使用できます。



主なセキュリティ機能

ダイナミックセグメンテーション

セキュアな有線および無線ネットワークアクセスを簡素化して強化するため、ブランチゲートウェイでは、有線および無線ネットワークにユーザー単位およびデバイス単位のルールを自動適用できます。ClearPass Policy Managerと統合すれば、ルールおよびポリシー管理を一元化できます。そのため、ユーザーロールとデバイスタイプに関係なく一貫したポリシーを適用でき、ネットワーク内のすべてのノードで不要なSSID、ACL、VLAN、サブネットを構成する必要がなくなります。

HPE Aruba Networking Client Insightsは、ポリシー適用にAIベースのインサイトを活用して、すべての有線およびWi-Fi接続ユーザーとIoTエンドポイントを正確に識別して分類します。

大規模な組織の多くが、グローバルに分散した複雑なネットワークを介して稼働しています。HPE Aruba Networking Central NetConductorは、EVPN、VXLAN、およびBGPプロトコルを使用して、インテリジェントなオーバーレイを自動的に構築してオーケストレーションし、複雑な分散型ネットワーク全体でロールベースのマイクロセグメンテーションとポリシー適用を実現します。HPE Aruba Networking ダイナミックセグメンテーションの詳細については、[ソリューションの概要](#)をご覧ください。

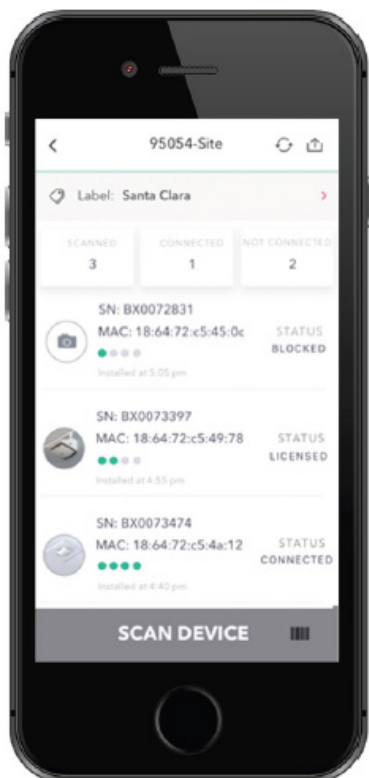


図 3. HPE Aruba Networkingモバイルインストーラーアプリケーションによるデバイスオンボーディングの例

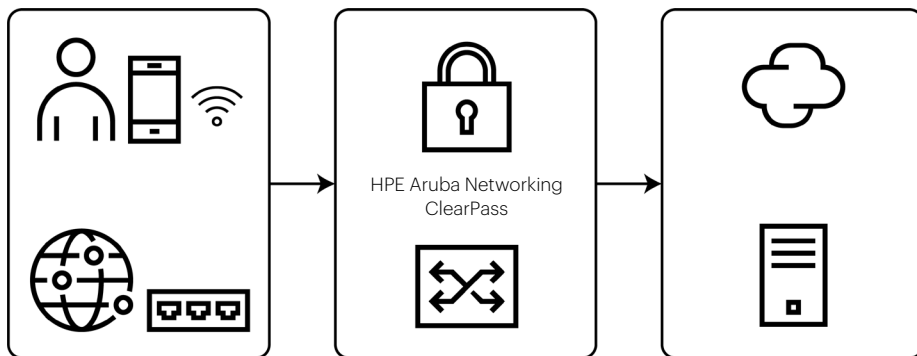


図 4. ダイナミックセグメンテーションでモバイルをIoTトラフィックから分離

ポリシーエンフォースメントファイアウォール (PEF)

Foundationalライセンスに含まれるPEFでは、有線/無線のユーザートラフィックとアプリケーショントラフィックを検査のためにGREトンネルからブランチゲートウェイに送信できます。

ダイナミックセグメンテーションにより、ユーザーロール、デバイスタイプ、アプリケーション、場所に応じたポリシー適用が実現されます。

アプリケーションの可視性と制御性

Foundationalライセンスにはアプリケーション可視性機能も含まれており、ディープパケットインスペクション (DPI) テクノロジーを使用して、3,700以上のアプリケーションおよびプロトコル (暗号化されたトラフィックや隠れたトラフィックを含む) のパフォーマンスとQoSに関するポリシーを評価して最適化します。

Webコンテンツフィルタリング

Foundationalライセンスに含まれるWeb Content Classification (WebCC) バンドルは、URLフィルタリング、IPレピュテーション、ジオロケーションフィルタリングなどの機能を備えています。URLフィルタリングは、機械学習のスピードと精度を活用して80以上のサイトカテゴリを分類します。IPレピュテーションサービスは、コンテキストおよび挙動の傾向を用いてIPレピュテーションインデックスを決定し、5つのレピュテーション階層 (Trustworthy, Low Risk, Moderate Risk, Suspicious, High Risk) に分類します。ジオロケーションフィルタリングサービスは、ソース/宛先IPアドレスをロケーションに関連付け、悪意のある既知の国との通信を許可したり破棄したりします。

ファイアウォールログ機能

HPE Aruba Networking Centralファイアウォールログダッシュボードは、企業ネットワーク全体のゲートウェイに適用されたファイアウォールルールの有効性をグラフと表で表示します。最初に、ブロックされたセッション数が最も多いゲートウェイのグローバルビューが表示されます。次に、ブロックされたセッションの詳細情報が、ソース/宛先IPアドレス別、適用されているポリシールール別にドリルダウンされます。ファイアウォールログ機能は、Foundationalライセンスにも含まれています。

IDS/IPSによる脅威防御

増大する攻撃対象領域のセキュリティを向上させるため、SD-WANモードで展開されたゲートウェイが、既存のセキュリティ機能の上に、ルールおよびIDベースの侵入検知/防止 (IDS/IPS) 機能を追加します。

高度なセキュリティダッシュボードは、IT部門にネットワーク全体の可視性、多次元的な脅威評価基準、脅威インテリジェンスデータ、相関関係、インシデント管理を提供します。この機能を利用するには、HPE Aruba Networking Centralの適切なセキュリティサブスクリプションライセンスが必要です。また、脅威イベントをSplunkなどのSecurity Information and Events Management (SIEM) システムにストリーミングすることで、高度な可視性と監視を提供できます。

Unified SASE

ハイブリッドワークをサポートしながら、クラウドコンピューティングのセキュリティ上の課題に対処するため、HPE Aruba Networking EdgeConnect SD-Branchは、HPE Aruba Networking SSEと統合してUnified SASEプラットフォームを構築し、統合型ネットワークおよびセキュリティに対するニーズの増大に対応します。Unified SASEソリューションは、単一のソリューションに緊密に統合されるため、展開しやすく、管理も簡素化されます。

HPE Aruba Networking SSEは、エージェントおよびエージェントレスZTNA (ゼロトラストネットワークアクセス) により、ユーザーおよび認定サードパーティユーザーに最小権限のアクセスを提供します。セキュアWebゲートウェイ (SWG) によってインターネットユーザーをサイバー脅威から保護するとともに、機密データを引き続きSaaSアプリケーションで保護し、クラウドアクセスセキュリティブロッカー (CASB) によるデータロスを防止します。また、デジタルエクスペリエンス監視 (DEM) を通じてデジタルエクスペリエンスと生産性を向上させます。

ZTNA、SWG、CASB、DEMで単一のコードベースを共有し、すべてのポリシーが単一のユーザーインターフェイスで一元管理されるため、IT管理者にとってはアクセス制御が大幅に簡素化されます。また、Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud、Oracle Cloudのクラウドバックボーンによって、アクセスが全世界で統一されます。

EdgeConnect SD-Branchは、サードパーティのセキュリティベンダーともシームレスに統合できます。HPE Aruba NetworkingのCloud Connectサービスにより、オーケストレーションが完全に自動化されます。HPE Aruba Networkingゲートウェイは、中央にホストされたファイアウォール (Palo Alto NetworksやCheck Point Softwareが提供するファイアウォールなど) のオンプレミスエージェント、またはZscalerやSymantecのようなWebセキュリティゲートウェイの役割を担っています。

技術仕様*

HPE Aruba Networking ブランチゲートウェイ (小規模および中規模)						
機能	9004	9012 ²	7005	7008	7010	7024
展開モード	小～中規模	小～中規模	小規模	小規模	中規模	中規模
クライアントの最大数	2,048 ³	2,048 ³	1,024 ³	1,024 ³	2,048	2,048
VLANの最大数	128	128	127	127	127	127
ファイアウォールスループット	4Gbps	6Gbps	2Gbps	2Gbps	8Gbps	8Gbps
暗号化スループット (AES-CBC)	4Gbps	4Gbps	1.2Gbps	1.2Gbps	2.6Gbps	2.6Gbps
アクティブファイアウォールセッション数	64,000/128,000 ⁴	64,000/128,000 ⁴	64,000	64,000	32,000	32,000
IDS/IPSスループット	最大1.1Gbps ⁵	最大1.1Gbps ⁵	N/A	N/A	N/A	N/A
WAN/LAN インターフェイス	4	12	4	8	16	24
PoE入出力	-	出力: 120W	入力: EO	出力: 100W	出力: 150W	出力: 400W
USB (WAN)	あり (1)、USB 3.0	あり (1)、USB 3.0	あり (1)、USB 2.0	あり (2)、USB 2.0	あり (2)、USB 2.0	あり (1)、USB 2.0
フォームファクター/設置面積	デスクトップ/1RU ⁶	デスクトップ/1RU	デスクトップ/1RU	デスクトップ/1RU	1RU	1RU

² 9012は、(適切なライセンスに基づき) IDS/IPS機能を含むブランチゲートウェイまたはヘッドエンドゲートウェイとして展開可能

³ 9004および7005/7008は、最大75のクライアントに基本容量ライセンスを提供

⁴ IDS/IPSありで64,000回、IDS/IPSなしで128,000回のセッション

⁵ IDS/IPSスループットの結果は、AOS SD-WANイメージ2.3またはAOS 10.2における入力ロスゼロのiMixトラフィックに基づく

⁶ RUは、オプションの取り付けキットを使用して2つの9004ゲートウェイを並列配置可能

HPE Aruba Networking ブランチゲートウェイ (大規模)

機能	7030	7210	7220	7240XM	9106	9114	9240
展開モード	大規模	大規模	大規模	大規模	大規模	大規模	大規模
クライアントの最大数	4,096	16,000	24,000	32,000	8,000	10,000	32,000
VLANの最大数	255	4,096	4,096	4,096	4,096	4,096	4,096
ファイアウォールスループット	8Gbps	20Gbps	40Gbps	40Gbps	15Gbps	20Gbps	20Gbps
暗号化スループット (AES-CBC)	2.6Gbps	6Gbps	20Gbps	30Gbps	10Gbps	20Gbps	20Gbps
IDS/IPS	N/A	N/A	N/A	N/A	2.5Gbps	4Gbps	6Gbps
アクティブファイアウォールセッション数	64,000	200万	200万	200万	200万	200万	400万
WAN/LAN インターフェイス	8 (コンボ)	2 (コンボ)	2 (コンボ)	2 (コンボ)	2 (コンボ); 2 x 10G SFP+; 2 x 1G (PoE 60W)	4 (コンボ)、 10G SFP+ x 4	25G SFP28 x 4
USB (WAN)	あり (1)、 USB 2.0	あり (1)、 USB 2.0	あり (1)、 USB 2.0	あり (1)、 USB 2.0	あり (1)、 USB 3.0	あり (2)、 USB 3.0	あり (2)、 USB 3.0
フォームファクター/ 設置面積	1RU	1RU	1RU	1RU	1RU	1RU	1RU

* 詳細なハードウェア仕様については、関連データシートをご覧ください。

HPE Aruba Networking ヘッドエンドゲートウェイ

機能	7010/7024	7030	7210	7220	7240XM	7280	9012	9106	9114	9240
展開モード	VPN コンセントレーター (VPNC)	VPNC	VPNC	VPNC	VPNC	VPNC	VPNC	VPNC	VPNC	VPNC
暗号化スループット (AES-CBC)	2.6Gbps	2.6Gbps	7Gbps	22Gbps	30Gbps	45Gbps	3.5Gbps	10Gbps	20Gbps	20Gbps
トンネルの最大数	256	512	1,024	4,096	6,144	8,192	512	8,000	16,000	32,000
ルートスケール	4,000	4,000	8,000	16,000	32,000	32,000	12,000	12,000	12,000	32,000
フォームファクター/ 設置面積	1RU	1RU	1RU	1RU	1RU	1RU	1RU	1RU	1RU	1RU

HPE Aruba Networking 仮想ゲートウェイ (パブリッククラウド インフラストラクチャ)

機能	Amazon Web Services (AWS)	Microsoft Azure	Google Cloud	VMware ESXi™
展開モード	VPCのEC2インスタンス	VNETのLinux VM インスタンス	VPCのVMインスタンス	vSphereを使用した VMインスタンス
仮想ゲートウェイのモデル	500Mbps、2Gbps、4Gbps	500Mbps、2Gbps、4Gbps	500Mbps、2Gbps、4Gbps	500Mbps、2Gbps、4Gbps
ファイアウォールスルーブット	500Mbps、2Gbps、4Gbps	500Mbps、2Gbps、4Gbps	500Mbps、2Gbps、4Gbps	500Mbps、2Gbps、4Gbps
仮想CPU	vCPU x 4、8、16	vCPU x 4、8、16	vCPU x 4、8、16	vCPU x 4、8、16
メモリ	7.5GB、15GB、30GB	14GB、16GB、32GB	16GB、32GB、64GB	7GB、15GB、30GB
ストレージ	15GB、30GB、60GB	15GB、30GB、60GB	15GB、30GB、60GB	15GB、30GB、60GB
インターフェイスの数	4 (管理インターフェイスを含む)	4 (管理インターフェイスを含む)	4 (管理インターフェイスを含む)	4 (管理インターフェイスを含む)
トンネルの最大数 (モデル単位)	512、4096、8192	512、4096、8192	512、4096、8192	512、4096、8192
インフラストラクチャのコスト	BYOL + ホスティングサービスのコスト (コンピュー、ストレージ、イーグレスデータを含む)	BYOL + ホスティングサービスのコスト (コンピュー、ストレージ、イーグレスデータを含む)	BYOL + ホスティングサービスのコスト (コンピュー、ストレージ、イーグレスデータを含む)	N/A

発注に関するその他の情報、およびゲートウェイハードウェアの詳細な仕様については、以下をご覧ください。

- [HPE Aruba Networking Central発注ガイド](#)
- [HPE Aruba Networking 7000シリーズモビリティコントローラーデータシート](#)
- [HPE Aruba Networking 7200シリーズモビリティコントローラーデータシート](#)
- [HPE Aruba Networking 9000シリーズゲートウェイデータシート](#)
- [HPE Aruba Networking 仮想ゲートウェイ展開ガイド](#)

HPE.comにアクセス

今すぐチャット

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パッカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、すべて当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

Google Cloud、Google、およびAndroidは、Google LLCの登録商標です。Linux は、米国およびその他の国におけるLinus Torvaldsの登録商標です。VMware ESXiおよびVMware vSphereは、米国およびその他の管轄地域におけるVMware, Inc. およびその子会社の登録商標または商標です。Azure、Microsoft、およびSkypeは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。Oracleは、Oracleおよび/またはその関連会社の登録商標です。すべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

a00047570JPN Rev. 3

HEWLETT PACKARD ENTERPRISE

hpe.com

